

第3回 次期一般廃棄物処理施設用地選定検討委員会
打合議事録

1 頁

日時	令和6年3月27日 10:00～11:00	場所	雲南市役所 2階 205 会議室
出席者	委員	10人（名称非公表）	
	事務局	雲南市市民環境部長 雲南市市民環境部新ごみ処理施設整備準備室	
	業務支援事業者	東和テクノロジー	
欠席者	委員	2人（名称非公表）	
協議内容		協議結果・指示事項	
1. あいさつ		用地選定検討委員長から開会あいさつ	
2. 議事 (1) 評価基準に基づく候補地の第3段階までの評価結果について		<p>事務局より</p> <p>資料1「次期一般廃棄物処理施設建設候補地評価シート」及び資料1-参考「次期一般廃棄物処理施設候補地に係る評価項目一覧表（第3段階まで）」について説明</p> <p>【質疑】</p> <p>① 第1段階「重複検討の回避」の項目で、代表候補地となったものが第3段階までで絞り込んだ5つの候補地の1つに残っています。除外された2つの候補地はいつのタイミングで再度検討の対象とされるのでしょうか。</p> <p>② 第2段階「②史跡・名勝・天然記念物の有無」の項目に関し、先ほど事務局より今春のコウノトリの繁殖に係る情報提供がありました。雲南市ではコウノトリの保護活動が盛んに行われているため、今後も繁殖域が市内全域へと拡大していく可能性があります。繁殖域の広がりを予測しては、候補地が定まらないことも危惧されます。したがって十分に配慮を行いながら、共存・共生できる方法を、本事業を実施するうえでも模索していくことが良策であると考えます。</p> <p>【回答】</p> <p>① 最終評価段階において、当該代表候補地が最有力地になった場合に再検討の対象としていく考えです。</p> <p>② コウノトリをはじめとする希少生物に関しては、保護活動を行っている地域の方々の心情等にも配慮していく必要があると考えます。ご指摘のとおり今後の動きを十分に注視しながら、対応していきたいと思っております。</p>	

第3回 次期一般廃棄物処理施設用地選定検討委員会
打合議事録

2頁

協議内容	協議結果・指示事項
<p>2. 議事</p> <p>(2) 最終段階評価基準案 (及び評価結果見直し)について</p>	<p>事務局より</p> <p>資料2「次期一般廃棄物処理施設候補地に係る評価基準書」及び資料2-参考「次期一般廃棄物処理施設建設候補地評価シート」について説明</p> <p>【質疑】</p> <p>① 第3段階「②防災指定の有無」での評価について、指定されている区域は、施設敷地のみを対象に確認されているのか、それとも進入路等も含めて確認されているのでしょうか。</p> <p>② 最終段階「(3) 経済性」の項目で、①インフラ整備費、②敷地造成費、③収集運搬費についてコスト比較を行う項目がありますが、3市町の財政面から見て、大きく経済性に劣る候補地を選定するべきではないと思います。</p> <p>③ 収集運搬費や施設整備費などの経費面について、3市町の負担割合についてはどうなるのでしょうか。</p> <p>④ 3つの候補地は民間の土地でしょうか。</p> <p>【回答】</p> <p>① 防災指定の有無について、施設敷地だけでなく周辺状況についてもある程度確認しています。</p> <p>ただし、防災区域は、既存の建物に対して指定されるものであり、現時点で指定がなくても施設建設後に新たに指定される場合もあります。</p> <p>第3段階では、あくまでの既知の指定区域への施設整備は避けるべきとの視点での判断を行っています。</p> <p>なお、進入道路も含め、実際に施設整備を実施するにあたっては、詳細調査を行った上で、防災上の危機を回避するため、必要な措置を講じながら対応していくこととなります。</p> <p>② (3) 経済性のみで最適候補地を選定するべきではないと考えますが、一方で同項目は審査を行う上で大きな比重を占めると考えています。ご意見も参考に、総合的な判断を行っていきます。</p> <p>③ 負担割合について、まだ決定はしていませんが、新施設が整備されると、雲南圏域3市町でゴミ処理に係る共同サービスが行われることとなります。</p> <p>現在、雲南広域連合や雲南市・飯南町事務組合で、既に広域的サービスが実施されていますが、それらのサービスに係</p>

第3回 次期一般廃棄物処理施設用地選定検討委員会
打合議事録

3頁

協議内容	協議結果・指示事項
	<p>る負担割合を参考に、整理を進めていくことになると考えています。</p> <p>④ 結果として民間の土地3つから、最終候補地を選定していくこととなる見通しです。最終段階では2つの官地も候補地として残りましたが、概算の結果、敷地造成費や収集運搬費が増加するため、3候補地と比較し、条件的に劣ると判断しています。</p>
<p>2. 議事 (3) 用地選定検討委員会の今後について</p>	<p>事務局より 資料3「用地選定検討委員会の今後について」について説明 【説明概要】 ○最終候補地の選定は3市町で行うため、今回、最終段階までの評価基準及び評価見通しに関する意見をいただいた段階で用地選定委員会の役割はいったん完了。 ○ただし、様々な事態に備えるため委員の任期を令和7年3月31日まで延長。</p> <p>【質疑】なし</p> <p>【委員長】 それでは、今回をもちまして本委員会はいったん休止。あわせて委員の任期については令和6年度末まで延長することとします。</p> <p>【事務局】 ご理解いただきありがとうございます。順調に進んだ場合においても、最終的な結果等は適宜委員の皆様にもお伝えしたいと思います。</p> <p>【吉山副委員長】 (雲南市副市長の立場として) 私からもお礼を申し上げます。新しいごみ処理施設は必要不可欠であり、地域の合意形成をして進めていかなければならない重大なプロジェクトです。最大の課題が用地選定であり、他地域の事例をみても用地選定の段階で事業の進捗が遅れるケースも少なくありません。そうした中、本委員会でも慎重に検討を進めてまいりました。今後も取り組みが順調に推移するよう努めて参りますので、引き続きご協力の程よろしくお願いたします。</p>
<p>3. その他</p>	<p>事務局より 用地選定に係る情報発信として委員会開催に係る出来事記事の市町報告への掲載状況を報告 そのほか、報酬の支払い、委嘱状の取り扱いについて説明</p>

以上